

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 太陽ユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	入社時に伝え、施設内に掲示し共有している。全職員が意識し実践していく必要がある。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナ禍により難しい。地域の避難訓練に職員が参加するなどし、今後の関係作りに努めている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナ禍により、郵送にて運営報告を行なっている。会議以外でお話させて頂ける時に意見をいただく様にしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	わからない事は市役所に出向く等している。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を設置、定期的に研修を実施し、学ぶ機会をもっている。身体拘束のないケアを心がけている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	資料の提供・研修を実施。また、法人としても職員アンケート実施など実施している。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活用されている方もあり、制度について学ぶ機会もあったが、今後も全職員が学ぶ機会を持てるようにしていく必要がある。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前・入居時にも退居時についての説明を行なっている。改定等についても書面や電話での連絡・説明を行なっている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話連絡等、家族からの意見や要望を受け付けている。管理者から職員への共有を行なっている。		A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議や会議以外でも職員と管理者が意見や提案を聞く機会がある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	福利厚生充実、年2回のアンケート実施など、働きやすい環境整備に努めている。		A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修はあるが、外部研修は一部の職員の参加となっている。また、法人の検定もコロナ禍により実施されなかった。		A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	現在はコロナ禍により、難しい現状がある。会議もZOOMを活用する等、感染予防に努めていた。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援を念頭に置き、出来る事は自身で行なっていたが介護度が上がっている為、難しくなっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部との交流が難しい状況が続いている。入居期間が長い方も多く、施設内での関係の継続の支援も大切にしている。			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様子観察や声がけなど、日常の関わりの中で、状態や希望・意向の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向は日常的に、家族の意向は面会時などに聞き取り、カンファレンスにて職員共有・見直している。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スマホ(ケアコラボ)を使つての記録入力となり、写真等の添付や情報共有しやすくなっている。計画書も職員が何時でも確認できる。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険外のサービスや制度を活用している方もいる。また、突発的なニーズ等、家族と相談し柔軟な対応を心がけている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内のサービスのみの方もあり、一人ひとりの地域資源の活用が十分とは言えない。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に主治医について説明し、希望された方は施設の協力医が主治医となり、月2回往診に来ている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報提供や洗濯物・必要物品準備など施設で対応する事もある。また、退院前カンファレンス参加や状況の確認などスムーズに受け入れられる様に努めている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている	入居時、重度化・看取りの指針について確認いただいている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24.	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	年1回消防署に依頼し救命訓練を実施しているが、コロナ禍となり、実際の訓練が行えず、講義・見学による訓練や中止となったりしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一応のマニュアルはあるが、現在、BCP策定を進めており、今後、より具体的にわかりやすく周知する必要がある。		A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で情報を共有し、一人ひとりにあった声かけ・対応をする様に、心がけている。		A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりにあったペースで過ごしていただいている。日々、様子に気を付け、希望をくみとれるように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	年齢と介護度合が高くなり、一緒に準備が出来ない状況になってきている。		A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・水分摂取量に気を付け、声かけを行なっている。十分な摂取量が難しい場合は、食事形態の変更や嗜好品の準備など工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身では難しい方については、職員が声かけ・介助行なっている。また、歯科衛生士による口腔ケアを定期的に受ける事が出来る。		A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせた排泄介助や排便の把握・対応を行なっている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の意向・体調や汚染等により、曜日の変更等柔軟に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせた休息の時間をもうけ、無理のない様に声がけを行なっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が全入居者の服用中の薬の確認が出来る様にファイルになっている。薬変更時はいつも以上に状態の変化に気を付けている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	余暇時間には外気浴など、ご自身のペースで過ごされている。全入居者への支援が出来る様に努める必要がある。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	以前は外出行事など行なっていたが、コロナ禍で施設外への外出が難しい。気候の良い時には外気浴する等、屋外へ出る機会を作る様に心がけている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所で小遣いを預かり、入居者・家族からの依頼により、職員が買物代行する事がある。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者・家族の希望により、電話が出来る様に支援している。手紙も切手の購入やポストへの投函等支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各居室には使い慣れた物をお持ち込み頂いたり、安全に過ごして頂ける様常に気を付け配慮している。共有のスペースでは季節を感じられる様に毎月職員と入居者が作成した飾りつけをしている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
----	---------------	--	---	--	--	---	--

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向については日々のご様子からくみとる様に心がけ、出来る限り意向にそえる様に努めている。健康に過ごして頂く為に声かけを行なう事もある。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴やその時々々の心身状態に合わせ、職員が情報共有し適切な支援が行なえる様に心がけている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医による往診や週1回の訪問看護により健康面の相談をする事が出来る。また、職員が日々状況の把握に努めている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活ではあるが、可能な限りご自分のペースで生活していただける様に心がけている。まだ十分とは言えない。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ベッド以外は居室で使うものは持参して頂いている。事故等、危険を伴う物の持ち込みは、ご遠慮いただく事もある。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設敷地内は屋外も自由に出る事が出来る。また、毎月行事があり自由に参加する事が出来る。コロナ禍により施設外への外出は難しい状況となっている。			

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る事・出来ない事を職員が把握し、声がけを行なっている。全入居者への役割・楽しみごとについては、今後努力が必要である。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓕ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者同士のなじみの関係が出来ており、日々談笑する姿が見られる。より全入居者が活動的に過ごして頂ける様に努める必要がある。		A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓖ ほとんどできていない	入居者と地域交流については以前より課題であり、職員が地域の行事に参加する等少しずつ改善出来るように努めている。また、コロナ禍の影響もあり、難しい状況である。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓖ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員も業務に追われることなく、入居者と過ごす時間がある。日々の会話や様子から安心して過ごして頂ける様に努めている。地域の方々との交流はコロナ禍もあり、難しい状況が続いている。今後改善に努めていきたい。		A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 海ユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念は事務所内に掲示し職員間で共有できているが、より実践していく必要がある。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は地域との交流も出来ていたがコロナ禍で難しい。参加出来る事には施設として参加している。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナ感染予防の為、郵送での運営報告となっているが2カ月に1度、意見を求めている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力関係は良好であると考えられるが、さらに密に日頃のサービスについて相談し合える機会をもつことが出来れば良い。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を立ち上げ定期的に研修を行ない、身体拘束をしないケアを実践している		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を立ち上げ研修を行ない虐待防止に努めている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	理解出来てない職員もあり、研修の機会を増やしていく必要がある。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々にあわせた内容を疑問点が納得出来るまで説明するように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で意向の把握に努めている。カンファレンス等で職員共有している。		A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話しやすい職場環境であり意見や提案を会議やユニットで相談や話し合い運営に反映されている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ あまりできていない D. ほとんどできていない	福利厚生充実や職員の状況把握に努めている。提案の機会や反映等があるとより良い。		A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人ひとりにあわせた研修を勤務時間内に受講機会を確保している。職員の受けたい研修も参加できるように努めている		A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為なかなか難しい現状ではある。zoom等のツールを使用して取り組みに努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入居者の立場になり、考える意識を持ち、気持ちに配慮したより良い関係構築に努力している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部との交流が難しい現状もあるが、対面での面会を感染対策しながら行うように努めている			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いや意向は日常の関わりの中で把握に努めるようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の引継ぎの中でアイデアを活かし、全職員で共有しケアプラン作成及び見直しに活かしている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアコラボにて日々の様子を記録入力しているため情報共有がしやすくなっている。介護計画の見直しにも活かされている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりに合わせて家族とも話し合いサービスの提供を柔軟に対応している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの地域資源の活用については十分できていないと思われる。地域資源の把握も十分ではない。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望される方は入居前より通われているなじみの医療機関を利用して頂いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院とは密に連絡をとり状態の確認や必要な時には荷物等も持っていくようにしている。退院前にはお話をするようにしている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている	入居時、指針を伝えている。早期から家族と話し合いをくりかえし行ない相談出来ている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	AEDの使用法や応急処置等の研修を年1回消防署にお願いして開催しているがコロナ禍で説明のみや中止になっている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓔ あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアル作成や研修で訓練をしているが地域との協力体制については今後の課題としている。		A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓔ あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの性格等を把握し職員間で情報共有し尊厳を損ねない言葉かけを心がけている。		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりにあった1日の過ごし方をさせていただく様、希望に寄り添った支援を心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓔ あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の年齢、介護度合が高くなってきており、従来と一緒にには出来なくなってきている。		A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓔ あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分摂取は適時様子をみながら飲用している。 水分や食事形態も一人ひとりにあった物を提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科による口腔ケアを実施している。 ブラッシング出来ない方については口腔ウェットを使用している		A. 充分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ADL や排泄のペースに応じた配慮、状態や日々の生活にあった支援をしている。		A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状態や希望にあわせて柔軟に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を確認し、その都度無理のない様に休息をして頂いている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が全入居者の服薬している薬を分かるようにファイルを使用し服薬変更時には変化についても申し送りをしている。		A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ ほぼできている D. ほとんどできていない	要介護度の高い方も多く、意識して行っているが、一人ひとりの実現に苦慮する場面もみられる。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓐ ほとんどできていない	以前は外出行事等もしていたが、コロナ禍で外出する事も難しく気候の良い時期に玄関先にて外気浴をしたりしている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓐ ほとんどできていない	利用者のお金の所持はほぼなく、事務所でお預かりして希望時や必要時に購入代行を行なっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望や家族の希望で電話や手紙のやり取りが出来るように支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前から使用していた使い慣れた家具を持ってきて使用して頂いている。共有スペースには季節を感じられる貼り絵等を飾ったりしている。		A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向を日々の生活の中からも取り、出来るだけ意向に沿った生活できるようにしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴等を職員間で把握共有しその時々にあったケアを心がけている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週1回の訪問看護や主治医の往診時に健康面等についてはお話が出来る。日々の状況については職員が把握するように努めている。		A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共存生活ではあるが出来るだけ自分のペースにて生活出来るようにしている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ本人の使用していた物をそのまま使用していただく様になっている。危険な物はご遠慮いただく事はある。		A. 十分にできている Ⓔ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓔ ほとんどできていない	敷地内は屋外も自分の意向で出る事が出来る。コロナ禍で施設外へ外出は難しい状況である。			

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が把握し本人の状態に合わせた声掛けを行なっている。 役割については今後も検討課題である			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者間で楽しくお話をされたりレクリエーションをされたりしている。		A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流については以前から課題となっている。地域行事に職員と参加等しているがコロナ禍で今は難しい状況がある。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方々とはコロナもあり交流が出来ていないが、入居者と職員が共にゆっくりとした日々が過ごせている。 今後、地域の方とはより良い日々をおくれるように努力が必要。		A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	